

不倫人妻調教物語

還は
激しい

杉原京子編 24

いや
いた。

自然と体が
激しいセックスを
求めてしまう。



不倫人妻調教物語



杉原京子編(24)



前回までのあらすじ

36歳の人妻、杉原京子(すぎはらきょうこ)はジムのインストラクターの速水良樹(はやみよしき)と不倫関係になる。

夫である杉原英輔(すぎはらえいすけ)はその事実を知り、ショックを受けたが、それ以上に妻が犯される姿を想像することで興奮する自分に驚いていた。

夫婦は調教プレイで強く結ばれる。

英輔は、エロ子に、ジジーズという高齢のエロプレイチームを紹介される。

激しいプレイによって、京子はM女としての喜びを存分に味わい、

英輔と深くつながる体験をした。

また、英輔と京子は、エロ子の別荘にて、詩織との激しい3Pを体験する。

英輔は、同僚の村上正一から、妻の遥を英輔と京子のエッチに参加させて欲しいと依頼される。

英輔は、京子と共に村上夫妻と調教プレイすることになる。

遥は、M女として覚醒する。

解説の視点

遥は正一に近づき、
そそり立った
ペニスを優しく
愛撫した。

ぐんっ

2人の様子を、
英輔と京子は
見守った。

唾液たっぷりの
舌を震わせ、

金玉から竿、
亀頭まで
舐め上げた。

うんっ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

痺れるような
心地良い快感が
正一を包んだ。

アッ

正一のペニスは
硬直度を増し、
粘液が滲み出ていた。



遥もまた、
愛液が溢れ、
おマンコをぐっしりと
濡らしていた。

しゃ

ペニスは
抵抗なく膣奥へと
滑り込んだ。

す
ん
ん

あ、
ああ……





遥は、おマンコを
締めたまま、

腰を回転させ、
ペニスを愛撫した。

ん
ん
ん
ん

正一のそそり
立ったペニスを、

しつかりと
味わっていた。

正一は、
じつくりと快感を
楽しむ遥を、

幸せな気分で
見ていた。

ん
ん
ん

ん
ん
ん

遥は、

激しい動きを
やめることが
できなくなっ
ていた。

自然と体が
激しいセックスを
求めてしまう。

おまんこを
愛撫して、
性的快感を得たい、

その純粋な
欲望が止まらな
くなっていた。



今まで感じたこと
のない、セックスへの
欲望だった。



お。お。ああ……

正一もまた、
久しく感じていない、
純粋な性の快感を
感じ始めていた。



肉棒が膣道を通り、
子宮を殴打する
たびに、

激しい快感が
発せられた。

ず
ず
ず
ず

が
が
が

が
が
が

乳首は痛いほど
勃起し、
汗が噴き出た。

は
は
は

は
あ

呼吸が激しくなり、
体温がどんどん
上昇していた。



遥は、正一を
激しく求めた。



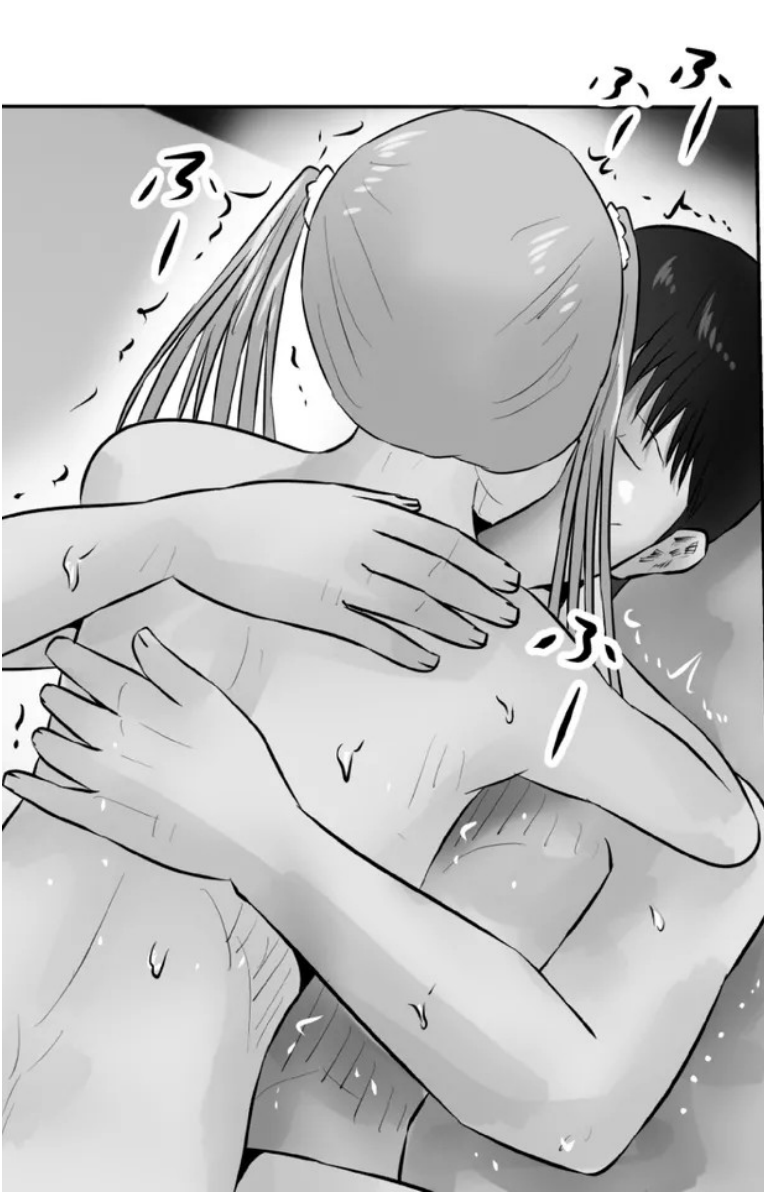
舌をからめ、
吸い、彼の
すべてを
欲しがった。

激しい衝動が、
遥を突き動かし、
止まらなく
なっていた。



膣肉を、かき分け
激しく入ってくる
肉棒の感触が、

たまらなく
美味だった。



正一の快樂衝動は止まらなくなっていた。

遥との激しいセックスが最高に気持ち良かった。



セックスを覚えたての頃のように、その快樂を求めた。

何度も何度も射精し続けた。



2人の交わりに、京子の興奮も収まらなかった。



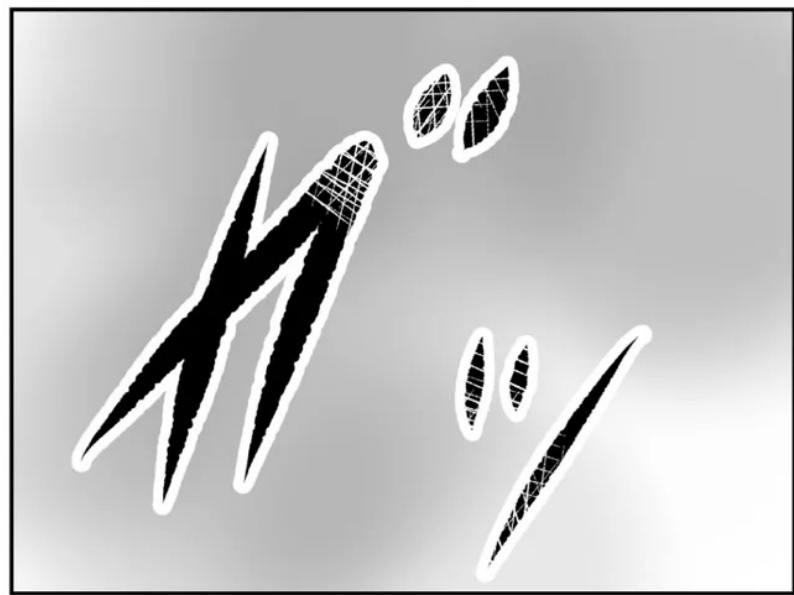
一心不乱に
交じり合う正一と
遙の姿を見て、

京子は
湧き上がる
欲情を感じていた。

膣奥に入り込む、
英輔のペニスが
たまらなかった。

過激なプレイを
続けた中で、
忘れていた

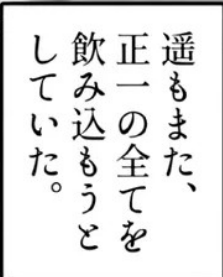
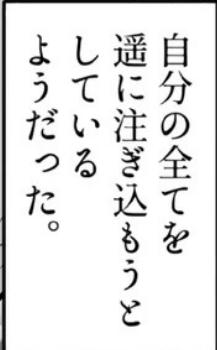
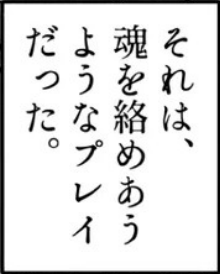
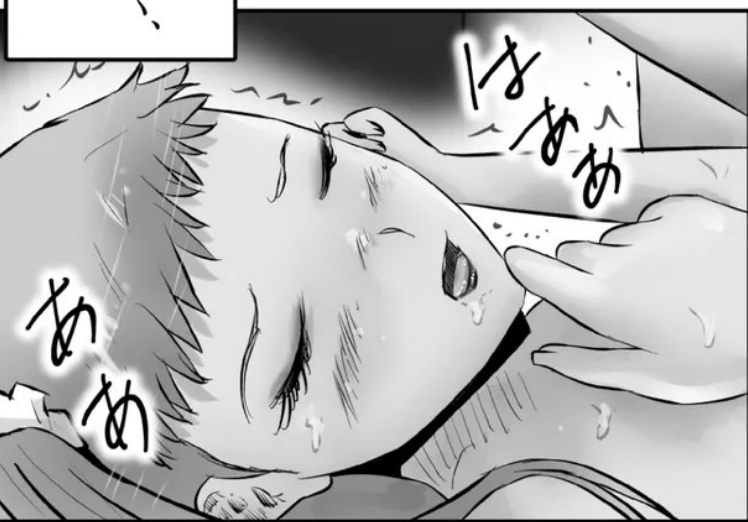
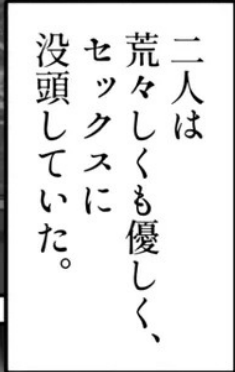
エッチの
根源的な魅力を
思い出していた。



正一も遙も、
求めあうセックスを
楽しく感じていた。

性器を
こすりつけあい、
愛撫しあう。

その感覚を、
喜びと共に
楽しんでいた。



正一と遙は、
意識を失うまで、
交じりあった。

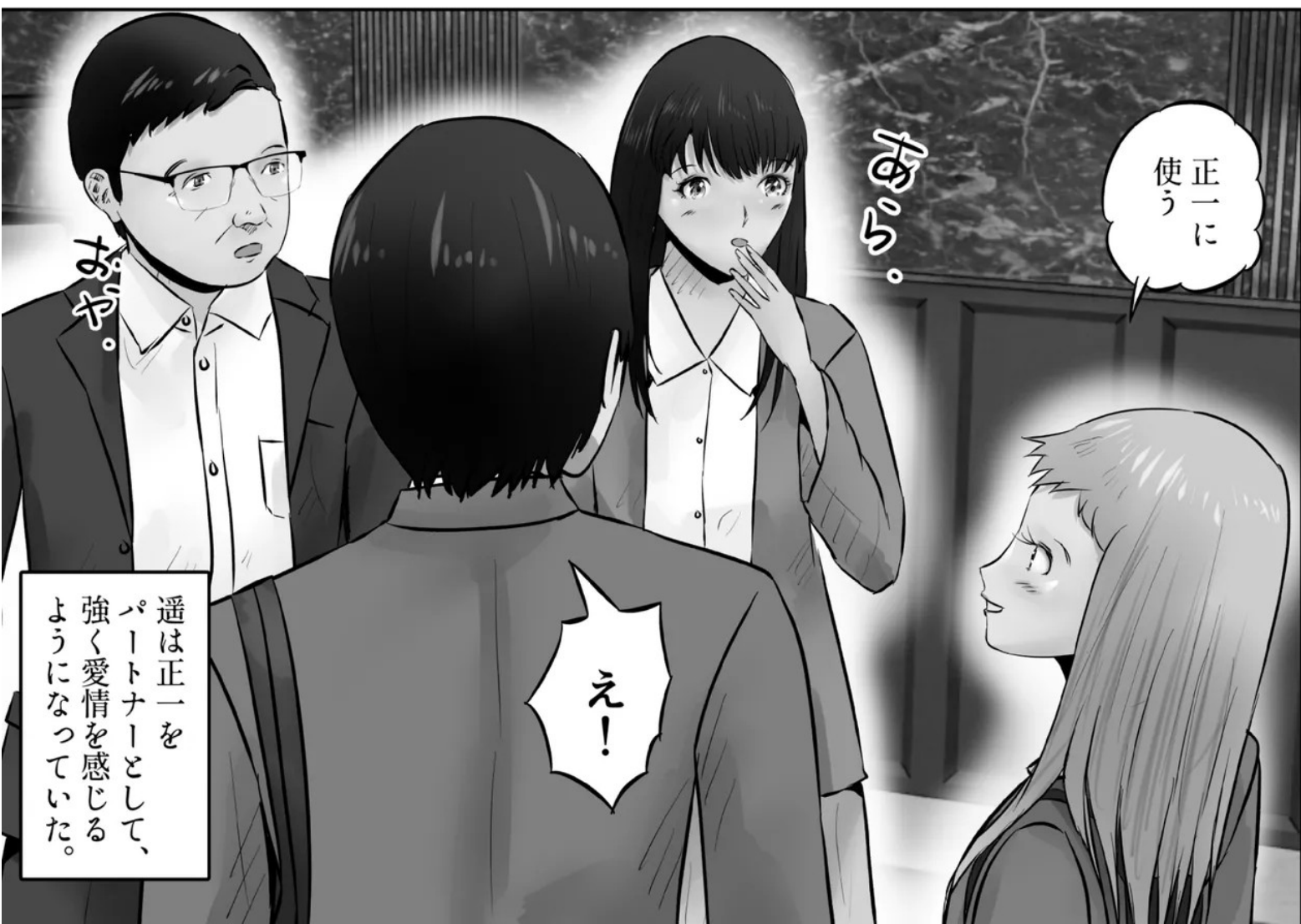
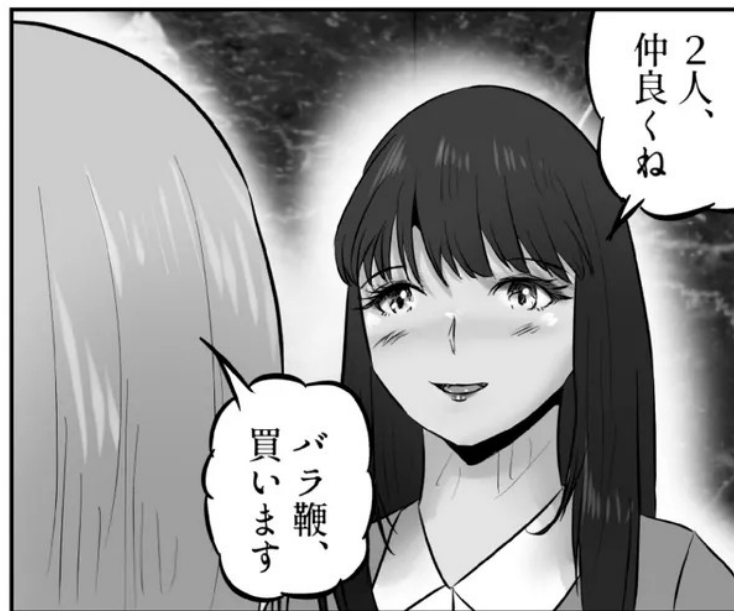
レレレ...



その姿に、
京子は満足したが、

沸き上がる
欲望も
感じていた。

レレレ...



帰宅した
京子と英輔……

濃厚
だったな

ええ、
でも……

くく…

どうした

楽しそうに
攻めてた
じゃないか

ん？

うん、
上手くできたと
思うけど……

私、やっぱり
攻められる側が
いいかも

はああ

はは、そうか、
じゃあ、縛って
やろうか？

うん。
して欲しい

Sの英輔が
そばにいることに、
本当に嬉しく
思う京子だった。

つづく

肉便器にされる
遥ちゃんに、
嫉妬しちゃった

京子の心に
変化と発見が
あった。

ゴッ
ッ
ッ

不倫人妻調教物語



杉原京子編(24)



前回までのあらすじ

36歳の人妻、杉原京子(すぎはらきょうこ)はジムのインストラクターの速水良樹(はやみよしき)と不倫関係になる。

夫である杉原英輔(すぎはらえいすけ)はその事実を知り、ショックを受けたが、それ以上に妻が犯される姿を想像することで興奮する自分に驚いていた。

夫婦は調教プレイで強く結ばれる。

英輔は、エロ子に、ジジーズという高齢のエロプレイチームを紹介される。

激しいプレイによって、京子はM女としての喜びを存分に味わい、

英輔と深くつながる体験をした。

また、英輔と京子は、エロ子の別荘にて、詩織との激しい3Pを体験する。

英輔は、同僚の村上正一から、妻の遥を英輔と京子のエッチに参加させて欲しいと依頼される。

英輔は、京子と共に村上夫妻と調教プレイすることになる。

遥は、M女として覚醒する。

京子の視点

遙ちゃん、
自分から
正一さんを
求めている。



ああ、
私も感じて
きちやう……



きっと、
今までとは
違うエッチに
なるはず。



互いを理解し、
受け入れるような
プレイができるはず。

二人の性器は、
相手を欲して
いるはず。

しゃ

愛液が溢れ、
熱くなってる
でしょ？

んんん

つながることで、
未体験の喜びと
快感が沸き上がる
と思う。

あ、
ああ……

す

んんん





遙ちゃん、
凄い動き。

気持ちよさが
止まらなくなっ
てきてるんでしょ？

おマンコに
おチンチンが
ずるつと入ってくる、
あの感じ。

盛り上げようと
しなくても、
自然と興奮が

沸き上がって
くる、
気持ちよさ。



自然に感じる
心地よい快感が
あるセックス。



お。お。ああ...

正一さんと、
一緒に楽しんで。





理性が飛んで、
本能が肉体を
支配する感じ、
わかる？



身体全体が、
エッチを
求めてるでしょ？



性器が
震えるほど
感じちゃう
でしょ？





正一さん、
エッチの気持ちよさ、
求めてる。

しゅっ

どん欲な
性的快楽が
欲しくて
たまらなさそう。

もちろん、
遙ちゃんだから、
感じられる感覚
でしょう？

精神的にも
肉体的にも
結ばれる。

それが、
気持ちいい
でしょ？

はあ、あ

ああ、
2人のエッチ、
凄く激しい。

私も、
おマンコ、
感じちゃう……

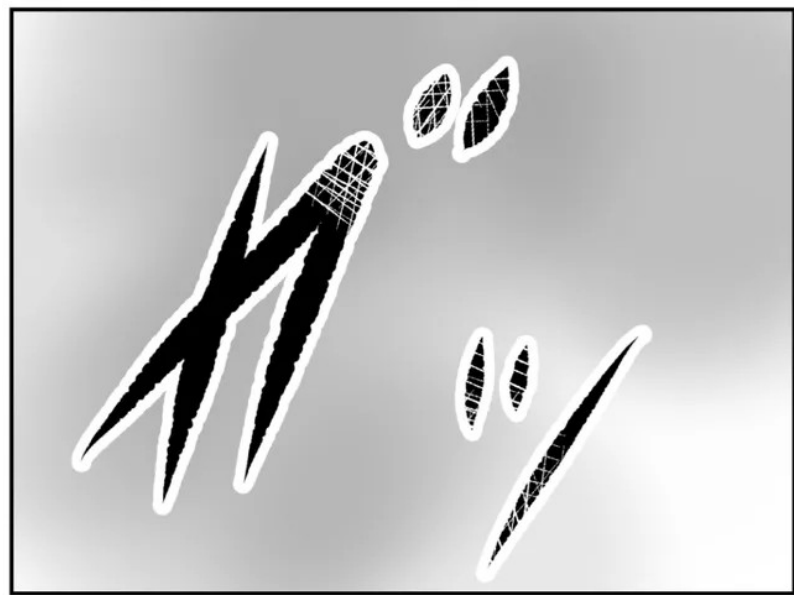
はあ
あ

あ
あ
あ

我を忘れる
エッチ……

うらやましい……

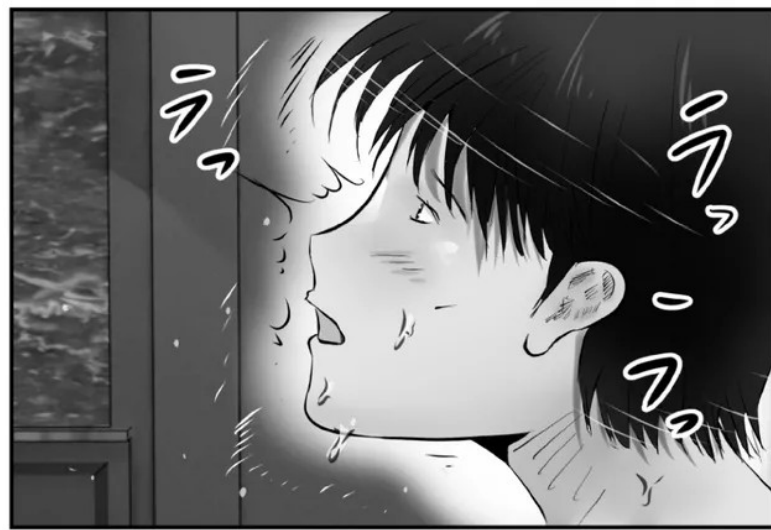
うらやましい
うらやましい
うらやましい



義務感のない
エッチ、
楽しいでしょ？

感じさせて、
感じることで
できる。

それが、
嬉しいでしょ？



ああ、正一さん、
ひたすら精子を
注入している。

気持ちよさが
止まらないのね。



考える前に
動いてしまう
エッチ。

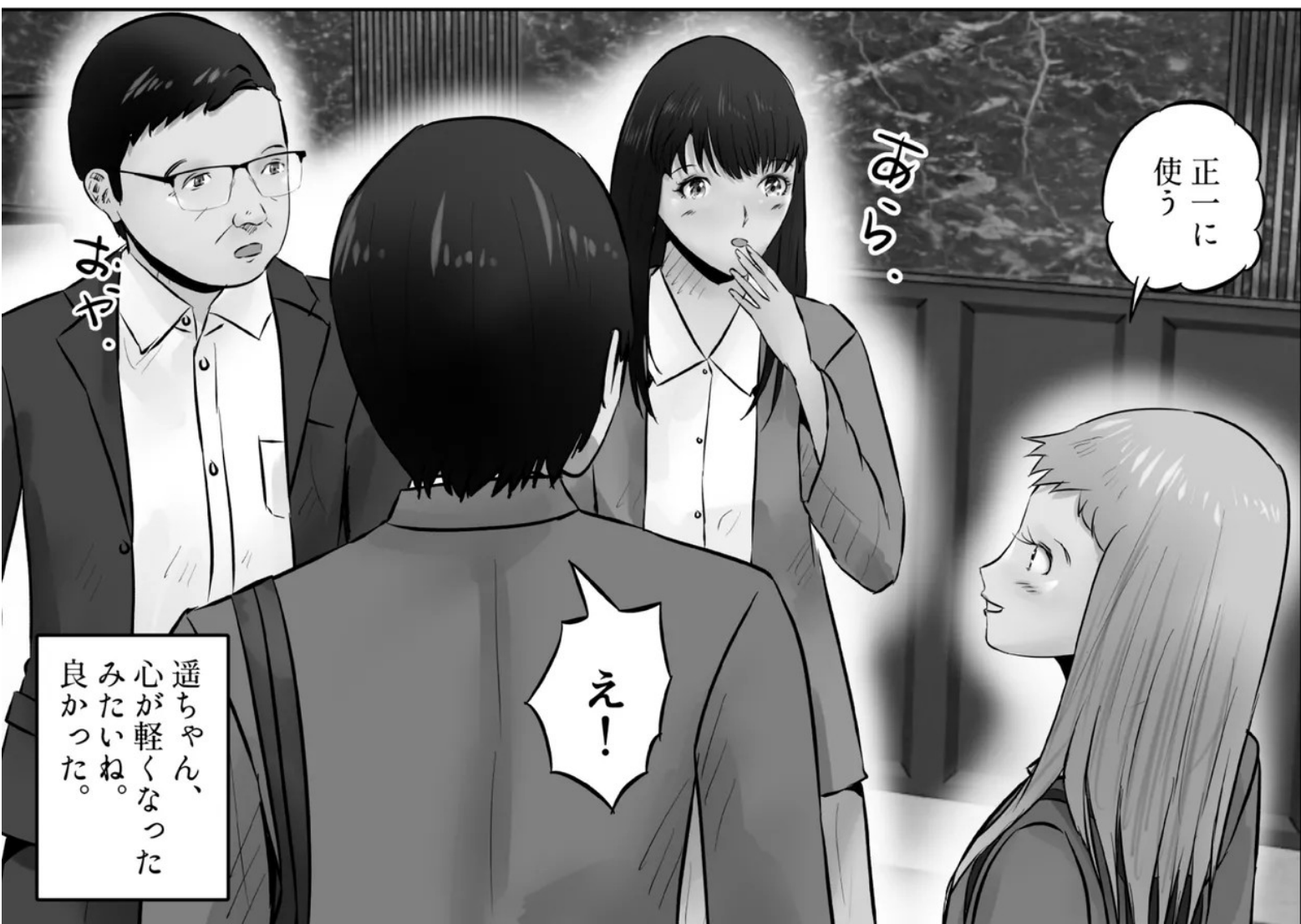
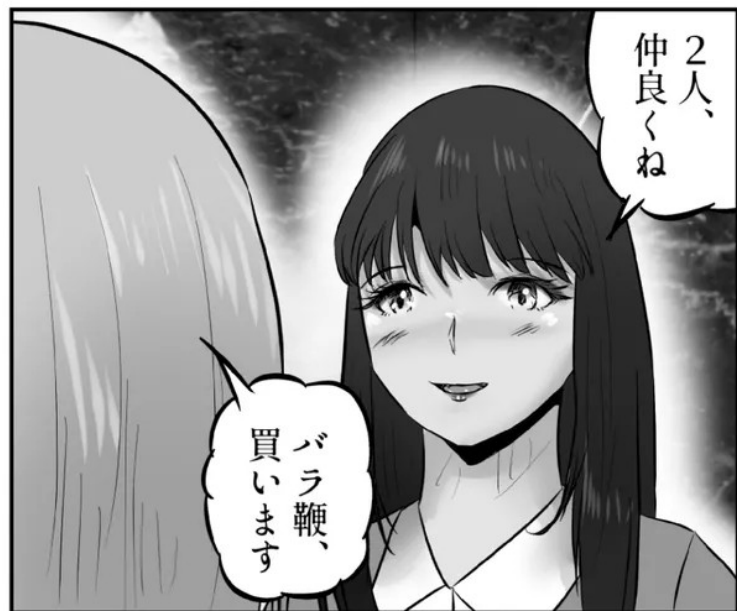


心身ともに、
相手とつながる感じ……
最高の体験よね？

ああ、寒い、
意識を失うまで
没頭するエッチが
できるなんて。

ちよつと、
羨ましい……





濃厚で、
あつという間の
プレイだった……

濃厚
だったな

ええ、
でも……

くく……

どうした

楽しそうに
攻めてた
じゃないか

ん？

うん、
上手くできたと
思うけど……

私、やっぱり
攻められる側が
いいかも

はああ

はは、そうか、
じゃあ、縛って
やろうか？

うん。
して欲しい

ああ、今すぐ、
おマンコ
ぐちゅぐちゅに
されたい!!

つづく

肉便器にされる
遙ちゃんに、
嫉妬しちゃった

自分が、こんな風
になるなんて、
思わなかった。

ゴッ
ッ
ッ